

Real Wine Guide

リアルな視点と本音で綴る、
ワインガイド

リアルワインガイド
79 autumn 2020

今、ブルゴーニュは
どうなっているのか。
そして、これから
どこへ向かうのか

2020年
ブルゴーニュ
レビュー-2

Berthaut-Gerbet

ベルト・ジェルベ 2020

ママさんとなったアメリカ。相変わらずシャイで、自分やワインをアピールすることなく、忙しい育児と畑仕事の中で時間を削りてくれた。なお、ダンナのニコラ・フォルはずっとベルト・ジェルベの畑に専念。平日の夜と土、日を使って自身の畑作業を行っている。働きすぎである。

ということで、20年のベルト・ジェルベはハッピー言ってこのドメーズの金字塔だ。物産酒の造った。アメリカは19年の方が好きと云うが、RWGも同様19年の方が好きだ。しかし20年のクオリティの高さは尋常じゃない。長期熟成型で、ワインが力強く大きい。けど酸は全くなく、滑らかで柔らかくてジューシー。特筆すべきはそのミネラル感だ。どのワインも驚くほどのツヤやかさがあり、液体の質感と味わいの輪郭が鮮明で、芯があり骨格がシャキとしまくる。

アメリカで「非常に早熟なヴィンテージで、収穫作業は8月23日の白ブドウ、25日の黒ブドウから始まり、9月1-2日のオート・コート・ド・ヌイユで終了した。開花時期の花ぶらりと乾燥した夏のせいでブドウが小粒となり、最終的な生産量は30-40%の減少でした。

近年の温暖化の影響で、オート・コート地区のブドウはタンニンがしっかり完熟する年が多くなったと感じます。当初は2003年に似たヴィンテージになるかと思いましたが、やはり似通った年というはなく、1年ごとにキャラクターが異なるものだと実感し



ました。アルコール度は適度で、2018年のような高さでもなく、2019年と同様に全房酸解がしやすい年でした。キウヴェの様子を見ながら、2019年と同程度の全房酸

を行いました(フィサン10%→クロ・ヴージュ50%、エシージュ60%)。正直に言うと、2019年のほうが自分の好みではありますが、今後の成熟によって変わってくるかもしれません。

今飲んで 90+ ボタンシヤル 91+ 飲み頃予想 今~2040

ブルゴーニュ・オート・コート・ド・ヌイユ '20

4,900円
輸入元/オルヴォー、八田他

ひと喉ごでいきなりKO。ツヤやかで滑らかで、美しい果実香と大地香、そしてミネラルによる粘り感を感じるともいえる香り。お見事です。口に含むと、もうすごいなんの。何なんですか、この滑らかさと柔らかさと美しい凝縮感。そしてツヤと粘り感がありまくりの液体は、そして味筋のいいことと言ったらない。オート・コートだぞ、これ。ハンパなく滑らかな味わいで、果実味と酸とタンニンの調和感がバツグン。心の底から美味しいと思うオート・コート。すごいです。(22年6月試飲)

今飲んで 91+ ボタンシヤル 92+ 飲み頃予想 今~2043

フィサン '20

6,600円
輸入元/オルヴォー、八田他

そしてまたまた驚く。フィサンのボタンシヤルの高さを見事に引き出すアメリカちゃんの手触りは更なる高みを目指して進化の真只中だ。ともかく飲み手を魅惑(にわく)するツヤのある美しくナチュラルな果実香と大地香。口に含むと20年的な濃いつまみで、しかし滑らかで、見事に凝り目がなくてミネラルでツヤツヤのトロトロ。味は酸が美しく伸び、濃いめの液体と強めの味を見事に絡めている。美味しさと同時に右脳がガンガンとボタンシヤルの高さに反応する。(22年6月試飲)

今飲んで 92+ ボタンシヤル 93+ 飲み頃予想 2025-2050

フィサン・レ・クロ '20

7,300円
輸入元/オルヴォー他

黒い風味が全体を覆うけど香りは閉じ気味。そして優しい力を感じられる強めの酒質というニュアンスの香りが漂っている。口に含むと濃いめで強い液体なんだけど、高いレベルで各要素のバランスがとれているから全く重さや大きさを感ぜない。濃さと強さもそれほど感じない調和感の素晴らしい。味はまだ若い段階だけど、幅やうま味感はこちらからどんどん出てくるのが保証されたその味わいの調和感。ともかく高い次元でバランスがとれた素晴らしいワイン。すごいフィサン村名。(22年6月試飲)

今飲んで 93 ボタンシヤル 94 飲み頃予想 今または 2032-2055

フィサン・レ・クレ '20

7,500円
輸入元/オルヴォー他

この畑と20年ヴィンテージから来る黒い風味がやはり全体を覆う。しかし、そこには全く重さも大きさもなし。滑らかでナチュラルでエレガントな質感を伴う強めの黒い香りだから。口に含むと、うわっ! うま味の塊だ。しかも集中して焦点がピンポイントで定まっている。しかも超っばい。これは偉大なワインのニュアンスそのもの。というか、メチャ美味い。スタイルこそ異なるが、ダンナのニコラ・フォルのローズ・コルトン19年や20年(銘酒です)とタメを張るクオリティだ。凄い。(22年6月試飲)

今飲んで 92+ ボタンシヤル 93+ 飲み頃予想 今~2045

ジュヴレ・シャンベルタン・コンプ・デュ・デュシュ '20

—
輸入元/—

フィサンより黒い風味がやわらぎ、ジュヴレの方が軽やかな足取りとなるいい香り。口に含むとやはり滑らかでツヤやか。なんともいう素晴らしいワイン達をアメリカちゃんは20年に造ったのか。味わいが豊かでツヤやかで、ミネラルがたっぷりだけども柔らかい。そして味の輪郭が鮮明でいながら全体をゆるやかに包み込んでくれる。メチャクチャ美味しいです。これもすごい村名ワイン。(22年6月試飲)

今飲んで 93+ ボタンシヤル 94+ 飲み頃予想 今または 2032-2055

フィサン・1er Cru・レザルヴレ '20

13,000円
輸入元/オルヴォー他

これまた高い次元でバランスがとれた素晴らしい香り。調和感がバツグンなので、強さや大きさよりも中心から外側まで輪郭が鮮明な香りだ。口に含むと凝縮しているのに滑らかで、決してヘンな強さも大きさもなし。ともかく中身が詰まってるって、それをひけらかすことなく、それが当たり前という風情。これもまたすごいフィサン。すごいベルト・ジェルベの20年。すごいです。(22年6月試飲)

今飲んで 94+ ボタンシヤル 95+ 飲み頃予想 今または 2030-2050

ヴォヌ・ロマネ・1er Cru・レ・プティモン '20

18,800円
輸入元/オルヴォー、八田他

V-Rの流麗さというより20年ジェルベの見事なまでのツヤやかさとナチュラル感と滑らかさのある、複雑なメチャいい香り。もうたまらない。口に含むとうま味の塊。そして凝縮しているのに液体は軽やかなと感じる濃いV-R。何かとんでもない地点にいきなり到達した20年ベルト・ジェルベだ。ドメーズをやめ、アメリカちゃんに畑を相続したフランソワ・ジェルベの当主だったお母さんもお心から嬉しいだろうな。(22年6月試飲)

今飲んで 95 ボタンシヤル 97 飲み頃予想 今または 2032-2055

クロ・ヴージュ '20

32,000円
輸入元/オルヴォー他

さすがに香りは閉じ気味。しかししかし、とんでもない情報量が液体に入っている。閉じてるけどこちらから探しに行く必要のないほどの情報は、ともかく偉大なワインであることを語りかけてくる。口に含むとメチャクチャ美味しい。クロ・ヴージュなんだけど、そこには大き過ぎる感じさせず、ひたすら滑らかでツヤやかさを感じる見事な質感の液体がある。そして、うま味の多さと味の多層感と複雑性と奥深さ。凄いクロ・ヴージュ。参りました。(22年6月試飲)